

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,406	サーバ等機器の管理運用・保守 期間 6 年 (H29.4~R5.3)
使用料	2,399	サーバ等機器のリース 期間 6 年 (H29.4~R5.3)
合計	6,805	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次教育ビジョン

基本目標 5 「学びを支援する安全・安心な教育環境づくり」

(26) 「ICTの環境整備と利活用の促進」

(2) 後年度の財政負担

- ・ 現在、新しい学習指導要領に対応した大学入試で求められる ICT 環境を検討しており、方向性が決まるまでの期間、暫定的にリース延長を予定している。サーバ機器の賃貸借・保守運用として約 5,000 千円程度必要となる。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・ 県立学校教育用コンピュータの整備担当課
普通高校コンピュータ整備・・・教育総務課
専門高校コンピュータ整備・・・学校支援課
特別支援学校コンピュータ整備・・・特別支援教育課

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 普通科を有する高等学校 40 校の教科「情報」の実習に必要なパソコン教室の機器を平成 28 年度に整備し、データセンターに統合したサーバシステムの安定稼働を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						達成率
教科「情報」用パソコン室整備率	87.5%	100%	100%	100%	100%	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	各学校に設置されていたサーバをデータセンターに集約することで、授業を停止することなく稼働するシステムを構築して、各校のサーバ管理業務を極小化することにより、教員は利活用に専念できた。
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	教科情報が大学の入学試験に取り入れられる予定であり、プログラミング教育を含む情報教育の推進が期待されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	すべての県立普通科高校に一律の情報教育の学習環境を提供することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	サーバを集約して管理を一元化したことで、教員は利活用に専念することができた。

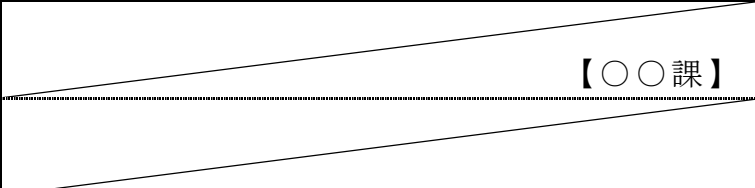
(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>原稿の契約満了後の令和5年度以降の整備について、1人1台整備後のパソコン教室の在り方を検討中</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>大学入試制度の変更も確認しながら、必要な整備を検討する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--

【〇〇課】